

5. 2. 対外的発表

(1) 宮城県沖地震アスペリティ周辺におけるプレート間すべりのモニタリングの実現

(a) 長期海底地震観測

1) 成果の論文発表・口頭発表等

今のところはなし。

2) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

なし。

(b) 短期海底地震観測・GPS/相似地震

1) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
鈴木健介, 日野亮太, 西野実, 桑野亜佐子, 山本揚二郎, 金沢敏彦, 山田知朗, 中東和夫, 望月公廣, 篠原雅尚, 青木元, 田中昌之, 荒木英一郎, 小平秀一, 藤江剛, 金田義行	海底地震観測による 2005 年宮城県沖の地震 (M7. 2) の本震・余震の震源分布とメカニズム解	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 18 日
Shantha S. N. Gamage, 内田直希, 海野徳仁, 長谷川昭	Aftershock distributions of three large off-Miyagi Prefecture earthquakes in 2005 revealed by sP phase	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 18 日
柳沼直, 岡田知己, 加藤研一, 武村雅之, 八木勇治, 長谷川昭	2005 年宮城県沖の地震 (M7. 2) と 1978 年宮城県沖地震 (M7. 4) のアスペリティの比較研究	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 18 日
日野亮太, 西野実, 桑野亜佐子, 山本揚	Ocean bottom seismographic	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 18 日

二朗, 鈴木健介, 金沢敏彦, 山田知朗, 中東和夫, 望月公廣・篠原雅尚・青木元・田中昌之・荒木英一郎・小平秀一・藤江剛・金田義行	observation of the aftershock activity accompanied with the 2005 off Miyagi Earthquake (M 7.2)		2006年5月18日
三浦哲, 油井智史, 伊藤浩司, 長谷川昭, 佐藤俊也, 立花憲司	GPS データにより推定された宮城県沖プレート境界の非地震性すべり—2002年11月3日 M6.3・2005年8月16日 M7.2 後の余効変動—	日本地球惑星科学連合 2006年大会	2006年5月16日
飯沼卓史, 三浦哲, 油井智史, 佐藤俊也, 立花憲司, 長谷川昭	GPS データから推定された2005年宮城県沖地震(M7.2)に伴う余効すべりの時空間変化	日本測地学会第106回講演会	2006年10月20日
山本揚二郎, 日野亮太, 鈴木健介, 山田知朗, 篠原雅尚, 金沢敏彦, 青木元, 田中昌之, 金田義行	Double-Difference Tomography 法による宮城県沖地震震源域の地震波速度構造	日本地震学会 2006年秋季大会	2006年11月1日
飯沼卓史, 三浦哲, 油井智史, 佐藤俊也, 立花憲司, 長谷川昭	GPS データから推定された2005年宮城県沖地震(M7.2)に伴う余効すべりの時空間変化	日本地震学会 2006年秋季大会	2006年10月31日
柳沼直, 岡田知己, 長谷川昭, 加藤研一, 武村雅之, 八木勇治	2005年宮城県沖地震(M7.2)と1978年宮城県沖地震(M7.4)のアスペリティの比較研究(2)	日本地震学会 2006年秋季大会	2006年11月2日
鈴木健介, 日野亮太, 山本揚二郎, 西野実, 金沢敏彦, 山田知朗, 中東和夫, 望月公廣, 篠原雅尚, 桑野亜佐子・植平賢司・青木	海底地震観測による2005年宮城県沖の地震(M7.2)の余震のメカニズム解	日本地震学会 2006年秋季大会	2006年10月

元・田中昌之・荒木英 一郎・小平秀一・藤江 剛・金田義行			
Yaginuma, T., T. Okada, A. Hasegawa, K. Kato, M. Takemura, Y. Yagi	Comparison of source areas of the 2005 (M7.2) and 1978 (M7.4) Miyagi-Oki earthquakes, NE Japan, by seismic waveform inversions	AGU 2006 Fall Meeting	2006年12 月14日
Iinuma, T., S. Miura, S. Yui, N. Uchida, T. Sato, K. Tachibana, A. Hasegawa	Spatio-temporal evolution of post-seismic slip associated with the 2005 Miyagi-oki earthquake (M7.2) as inferred from GPS data	AGU 2006 Fall Meeting	2006年12 月13日
Suzuki, K., R. Hino, Y. Yamamoto, M. Nishino, T. Kanazawa, T. Yamada, K. Nakahigashi, K. Mochizuki, M. Shinohara, A. Kuwano, K. Uehira, G. Aoki, M. Tanaka, E. Araki, S. Kodaira, G. Fujie, and Y. Kaneda	Aftershock distribution of the 2005 off Miyagi Earthquake (M7.2) by ocean bottom seismographic data	AGU 2006 Fall Meeting	2006年12 月12日
Yamamoto, Y., R. Hino, K. Suzuki, T. Yamada, M. Shinohara, T. Kanazawa, G. Aoki, M. Tanaka, and Y. Kaneda	Seismic velocity structure in the focal area of the Miyagi-Oki earthquake revealed by double-difference tomography	AGU 2006 Fall Meeting	2006年12 月12日

Yamamoto, Y. R. Hino, M. Nishino, T. Yamada, T. Kanazawa, T. Hashimoto and G. Aoki	Three-dimensional seismic velocity structure around the focal area of the 1978 Miyagi-Oki earthquake	Geophys. Res. Lett. 33, doi:10.1029/2005GL025619	平成 18 年 5 月 23 日
Yaginuma, T., T. Okada, T. Matsuzawa, N. Umino and A. Hasegawa	Coseismic slip distribution of the 2005 off Miyagi earthquake (M7.2) estimated by inversion of teleseismic and regional seismograms	Earth Planet Science, 58, 12, 1549-1554	平成 19 年 2 月 2 日
Umino, N., T. Kono, T. Okada, J. Nakajima, T. Matsuzawa, N. Uchida, A. Hasegawa, Y. Tamura, and G. Aoki	Revisit to the 1930s' three Miyagi-oki earthquakes with magnitude more than 7: Possible rupturing of asperities that caused the 1978 M7.4 Miyagi-oki earthquake	Earth Planet Science, 58, 12, 1587-1592	平成 19 年 2 月 2 日
Hino, R., Y. Yamamoto, A. Kuwano, M. Nishino, T. Kanazawa, T. Yamada, K. Nakahigashi, K. Mochizuki, M. Shinohara, K. Minato, G. Aoki, N. Okawara, M. Tanaka, M. Abe, E. Araki, S. Kodaira, G. Fujie and Y. Kaneda	Hypocenter distribution of the main- and aftershocks of the 2005 Off Miyagi Prefecture Earthquake located by ocean bottom seismographic data	Earth Planet Science, 58, 12, 1543-1548	平成 19 年 2 月 2 日
Miura, S., S. Yui, N. Uchida, T. Sato, K. Tachibana and A. Hasegawa	Co- and post-seismic slip associated with the 2005 Miyagi-oki earthquake (M7.2) as	Earth Planet Science, 58, 12, 1567-1573.	平成 19 年 2 月 2 日

	inferred from GPS data		
日野亮太・鈴木健介・山本揚二郎・西野実・金沢敏彦・山田知朗・中東和夫・望月公廣・篠原雅尚・桑野亜佐子・青木 元・田中昌之・荒木英一郎・小平秀一・藤江剛・金田義行	海底地震観測による 2005 年宮城県沖地震 (M 7.2) の余震分布 (速報)	地震 2	印刷中
三浦 哲・油井智史・飯沼卓史・佐藤俊也・立花憲司・長谷川 昭	2005 年宮城県沖地震 (M7.2) に伴った地震時・地震後地殻変動から推定されたプレート境界面上のすべり分布	地震 2	印刷中
内田直希・松澤 暢・三浦 哲・平原 聡・長谷川 昭	小繰り返し地震解析による宮城・福島県沖プレート境界の準静的すべり	地震 2	印刷中
有吉慶介・松澤 暢・矢部康男・長谷川昭・加藤尚之	沈み込みプレート境界における断層セグメント間の相互作用	地震 2	印刷中
海野徳仁・河野俊夫・岡田知己・中島淳一・松澤 暢・内田直希・長谷川昭・田村良明・青木 元	1930 年代に発生した M7 クラスの宮城県沖地震の震源再決定ー1978 年宮城県沖地震のアスペリティでのすべりだったのか？ー	地震 2	印刷中
河野俊夫・海野徳仁・長谷川昭	1930 年代に発生した M7 クラスの宮城県沖の地震の震度分布について	地震 2	印刷中

2) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定なし。

(2) 過去の活動履歴を把握するための地質学的調査

(a) 仙台・石巻平野における地質調査

1) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
澤井祐紀・岡村行信・宍倉正展・松浦旅人・Than Tin Aung・小松原純子・藤井雄士郎	仙台平野の堆積物に記録された歴史時代の巨大津波－1611年慶長津波と869年貞観津波の浸水域－	地質ニュース	平成18年8月
澤井祐紀・宍倉正展・岡村行信・Than Tin Aung・松浦旅人・高田圭太・藤井雄士郎・佐竹健治	仙台平野を襲った巨大津波の浸水履歴	日本地球惑星科学連合2006年大会	平成18年5月14日
宍倉正展・澤井祐紀・岡村行信・鎌滝孝信・藤原 治・藤井雄士郎・Than Tin Aung	石巻平野における浜堤列および津波堆積物調査	日本地球惑星科学連合2006年大会	平成18年5月14日
澤井祐紀・宍倉正展・岡村行信・Than Tin Aung・松浦旅人	History of tsunami inundations in Sendai Plain, detected from coastal geology	2006 AOGS 3rd annual meeting	平成18年6月11日
澤井祐紀・宍倉正展・岡村行信・松浦旅人・Than Tin Aung・小松原純子・藤井雄士郎	堆積物から復元した宮城県中南部における貞観津波の浸水域	歴史地震研究会	平成18年9月

2) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定なし。

(b) 東北地方太平洋沿岸における地質調査

1) 成果の論文・口頭発表

著者	題名	発表先	発表年月日
原口 強・鳥居和樹・藤原 治・島崎邦彦 今泉俊文	東北地方三陸海岸, 大槌湾の津波堆積物	月刊地球 28巻-8号 539-545	平成18年8月

原口 強・鳥居和樹・今泉俊文・宮内崇裕・島崎邦彦	東北地方三陸海岸における過去数千年間の巨大地震と地殻変動	北淡活断層シンポジウム 2007 講演要旨集, 15-18	平成 19 年 1 月 13 日
原口 強・鳥居和樹・今泉俊文・宮内崇裕・島崎邦彦	三陸沿岸宮古湾, 葉の子浜の津波堆積物	北淡活断層シンポジウム 2007 講演要旨集, 43-46.	平成 19 年 1 月 13 日
鳥居和樹・原口強・島崎邦彦・今泉俊文	東北地方三陸海岸, 大槌湾の津波堆積物と歴史津波との対比	北淡活断層シンポジウム 2007 講演要旨集, 47-50.	平成 19 年 1 月 13 日
呉屋健一・原口強・今泉俊文・島崎邦彦・宮内崇裕・池田哲哉	東北地方三陸海岸, 碁石浜の津波堆積物	北淡活断層シンポジウム 2007 講演要旨集, 51-52.	平成 19 年 1 月 13 日
今泉俊文・宮内崇裕・原口 強・島崎邦彦・楮原京子・佐々木亮・道・Kamal Pasha・呉屋健一	三陸沿岸の津波堆積物と歴史地震	日本地理学会 発表要旨集 71, 117.	平成 19 年 3 月 20 日

2) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定なし。